壺川小学校　学校便り　№１１　　2020年9月25日（金）

命と笑顔が輝く壺川小

文責　校長　藤米田成二

いよいよ明日はミニ運動会です。子どもたちは、がんばっています！

今年は、新型コロナウイルスの影響で５月の大運動会の頃は休校中でした。運動会の実施についていろいろと検討しましたが、子どもたちがみんなで協力して行事を作り上げることの大切さを味わってほしいと考え、９月にミニ運動会を実施することとしました。ミニ運動会に向けて５、６年生の応援団や企画委員会を筆頭に、高学年が中心となって各団をまとめながら、全学年一生懸命がんばっています。

例年の運動会とは違い、密を避けた種目、密を避けた練習を各学年で工夫し取り組んできました。結団式も全校児童を１か所に集めず、Zoomにより各教室に映像でつなぎました。応援団や企画委員会は体育館からの発表でしたが、各教室からの感想も交流しながらしっかりと心をつなぐことができました。

企画委員会が子どもたちの案をもとに代表委員会で決めた今年の運動会のスローガンは、

みんなで団結　　心を燃やせ　　記憶に残る　　短期決戦

です。

例年のように表現やダンス、全校競技等思い切り体を動かすことができませんが、この新型コロナ禍の運動会を「特別な運動会」として子どもたちの記憶に残るものにしてほしいと思います。

全体練習もみんな真剣です！

今年の全体練習は２回の計画でした。開閉会式と応援合戦の練習です。ところが雨のために、運動会の３日前、４連休明けの２３日が最初で最後の全体練習となりました。運動場に全校児童で集まるのは、新型コロナが拡がる前以来ですので、半年以上ぶりでした。しかし、子どもたちはほとんどしゃべらず、真剣な顔つきで全体練習に参加できました。隊形移動もスムーズで、計画通りの練習ができました。

また、応援合戦では、応援団の子どもたちがこれまでに練習してきた演技を全校児童の前で初めて披露しました。

応援団の子どもたちも言葉や動作、態度、表情・・・どれをとっても一生懸命さが伝わってくる見事な演技でした。これまでの練習で真剣に取り組んできたことがよく分かりました。

今年は、観覧人数も保護者２人まで、と制限をしているため多くの方にご覧いただけませんが、子どもたちのこの運動会にかける意気込みを見ていただければと思います。

明日の本番を、子どもたちが皆最高のコンディションで迎えられますよう、よろしくお願いいたします。

今年の運動会は新型コロナウイルスの感染防止のため、保護者の方の観覧人数を２名以内と制限させていただき、敷物やテーブル等は全面禁止としております。プログラムを低学年、中学年、高学年で大きく分けておりますので、応援が密になりませんよう、お子さんの学年以外は交代しながら譲り合って応援していただければ、と思います。ご協力をよろしくお願いいたします。